

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	設計製図 1	
科目基礎情報							
開設学科	建築設計科		コース名		開設期	前期	
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	90時間
単位数	3単位				授業形態	実習	
教科書/教材	建築デザイン製図、第 3 版コンパクト資料集成／補足の資料を配布						
担当教員情報							
担当教員	大澤 公仁、岩田 明士 他				実務経験の有無・職種	有・建築設計 一級建築士	
学習目的							
設計において必要とされる線の書き方・文字の書き方を解すること、人体寸法各寸法を理解すること、図面の種類及び作図方法を理解すること、そして住宅の設計を中心として設計の手法を身に着けることを目的としている。また、社会常識を理解したうえで個々の個性を引き出し想像力を育てることを主眼に置いている。							
到達目標							
作図においては、線の種類、線の太さ、レタリングの書き方を理解したうえで正確な図面を作成することを目標としている。 設計においては人体寸法、家具寸法を理解させ、常識的な設計をそして個性のある設計ができることを目標としている。 以上をふまえたうえで、2級建築士製図試験に求められる背渦の基礎知識、設計における基礎知識を身に着けることが最終的な目標である。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、午前は作図練習、午後は設計演習と分けて進めていく。作図練習では線・レタリングの練習、部屋の寸法や家具の寸法を理解した上での作図、配置図・平面図・断面図・立面図と作図の進め方を教えていく。 設計実習においては、第一課題は与えられた空間に家具をデザインレイアウトをしていく基本寸法を理解させるための課題、第二課題は基本空間を与えた上で、更にその空間を超えて創造していく創造性を求めた課題である。						
	この授業では、段階に進めていくことを第一としている。遅刻・欠席することなく履修すること。実習においては学生と講師のコミュニケーションを多くとり、理解度高めそして想像力を高めることを目的としている。そのためにも、エスキス・スタディーを授業前には準備をして取り組むことを求めている。また、実際の仕事においては期日を守ることが最優先される。したがって記述内にしっかりと成果物を提出することが求められる。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	作図練習	20%	作図課題を総合的に評価する				
	課題	50%	設計課題を総合的に評価する				
	出席状況	20%	時間を守り授業の取り組み度合いを評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	線の引き方／図面の書き方			線の種類、レタリング、壁、建具の線引き			
2回	空間寸法 1／はじまりの小屋			図面の種類 車、リビング、ダイニング、キッチン / 外壁制作			
3回	空間寸法 2／はじまりの小屋			階段、トイレ、洗面室・浴室、寝室・クローゼット / 家具制作			
4回	はじまりの小屋			模型制作			
5回	スタジオ発表会／選抜発表会			各スタジオごとに全員発表、その後、選抜で優秀作品を発表			
6回	平面図の書き方1／エスキス1			平面図の書き方を指導 / エスキスチェック1			
7回	平面図の書き方2／エスキス2			平面図の書き方を指導 / エスキスチェック2			
8回	配置図／エスキス3			配置図の書き方を指導 / エスキスチェック3			
9回	断面図の書き方／平面図作図			断面図の書き方を指導			
10回	立面図の書き方／平面図作図			立面図の書き方を指導			
11回	平面図作図／断面図、立面図作図			平面図提出			
12回	建築模型 制作			断面図、立面図提出			
13回	建築模型 制作			図面再提出			
14回	建築模型制作／提出に向けた加筆			模型提出 / チェックリストに基づき、各自の図面の修正・加筆			
15回	スタジオ発表会／選抜発表会			各スタジオごとに全員発表、その後、選抜で優秀作品を発表			